

Duo デュオ



発行：美唄市男女共同参画推進協議会事務局（美唄市役所地域経営室内）
〒072-8660 美唄市西3条南1丁目1番1号 TEL 0126-62-3137
FAX 0126-62-1088 e-mail kikaku@city.bibai.lg.jp

*「デュオ」とは、イタリア語で「二重唱」、「二重奏」を意味する言葉です。 会員募集中！（年会費1,000円）

札幌市男女共同参画センター 視察研修に参加して



昨年11月27日、今後の当会活動を広げていくため、「札幌市男女共同参画センター」を訪問し、男女共同参画に関する札幌市の取組状況や市内活動団体の取組事例の紹介、施設内見学などの視察研修を行いました。

「札幌市男女共同参画センター」は、同施設を始め4つの公共施設が同居する複合施設『札幌エルプラザ（建物の外観がLの形に見えることから名付けられたそうです）』内にあり、市民活動の拠点施設として活用されています。

施設内には、ホール、大小研修室、料理実習室、洋和裁室、健康スタジオなど多くのスペースがあり、施設の利用（有料）も大変多く、抽選会で決定されるとのことです。また、施設利用者が無料で利用できる専用の託児室もあり、主催事業時の託児はボランティアなどをお願いしているそうです。



主な活動として

は、男女共同参画に関する課題をテーマにした「セミナー・講演会」・「女性のための再就職準備講座」などの単独事業や、「カルチャーナイト」など他施設との共同事業を始め、地域に出向いて仲間と男女共同参画について一緒に考える出張講座の開催、子育てサポートやクリッピング（新聞記事の切り抜き）などのボランティア事業、啓発パネルの貸出事業、女性のための専門相談窓口など数多くの事業が行われています。札幌市内に限らず各地の活動を援助する事業もあり、特に私は、【出張講座】の中で行っている「男女共同参画ワークショップ」に興味を持ちました。

施設のすばらしさはともかく（あきらめ・・・）、みんなでワイワイ意見を出し合いながら新たな発見をしていく—「気づき」のためのワークショップは、ぜひ当会でも実施してみたいと思いました。

野 祐子

女性も男性も生き生きとくらせるまちに！

美唄市男女共同参画条例

ができました（H22.4.1施行）



市では、平成20年に「美唄市男女共同参画計画（第2次）」（計画期間H20～H29）を策定し、男女共同参画社会の形成に向けた総合的・計画的な施策の展開を進めています。

このたび、この計画を進める上で大切な「男女共同参画」の考え方を市民の皆さんと共有し、一緒に取り組みを行っていくためのルールとして「美唄市男女共同参画条例」を制定しましたので、その概要を紹介します。

問合わせ先：美唄市地域経営室（TEL62-3137:直通）

※男女共同参画社会の形成とは（定義第2条）

男女が、性別で役割を決められることなく、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されることにより、等しく政治的、経済的、社会的および文化的利益を受けることができ、かつ、ともに責任を担うこと。

○条例で定めている主な内容

- ・男女共同参画社会の形成に向けた7つの基本理念を定めています。（第3条）
- ・市や事業者、市民の皆さん、それぞれの役割を定めています。（第4条～第6条）
- ・誰であっても、性別による差別などの禁止事項を定めています。（第7条）
- ・市が行うべき7つの基本的な施策を定めています。（第8条）
- ・市は、計画的に進めるための計画づくりを行います。（第9条）
- ・市は、毎年度の施策の実施状況報告書をつくって、公表します。（第11条）
- ・市は、必要な調査研究や広報活動を行います。（第12条～第13条）

7つの基本理念（第3条） ～ 男女共同参画を推進するために必要なこと

1 男女の人権の尊重

性別による差別を受けることなく、個人の能力を発揮する機会が確保され、人権が尊重されるようにしましょう。

2 多様な生き方の選択と尊重

性別による固定的な役割分担等を前提とした制度や慣行によって活動を制限されることなく、自らの意思で多様な生き方を選択し、その生き方を互いに尊重しましょう。

3 市、事業者、市民の協働

社会のあるゆる分野で男女共同参画が推進されるように、相互の協力により協働して取り組みましょう。

4 意思決定の場での男女の平等な参画

男女が性別にかかわらず、社会のあらゆる分野の意思決定の場に、対等な構成員として平等に参画する機会を確保しましょう。

5 家庭での男女の協力

家族を構成する男女が相互の協力と社会の支援により、家庭生活とその他の社会生活における活動を円滑に行い、家族としての役割を果たせるようにしましょう。

6 相互の性の理解と健康の維持

男女が人格を尊重し合い、互いの性を理解することで、生涯にわたって心身の健康を維持できるようにしましょう。

7 国際的協調

男女共同参画社会づくりにあたっては、国際社会の取り組みへの理解と協調の下に推進しましょう。

家事も子育ても
一緒にやろう！



市、市民、事業者の役割（第4～6条） ～ みんなで取り組むこと

みんなで一緒に力を合わせよう！



市の役割（第4条）

- 1 男女共同参画を進めるための施策を策定し実施する役割を担います。
- 2 市民、事業者や国及び他の自治体と連携、協力して男女共同参画に取り組みます。
- 3 男女共同参画を推進するための体制を整備するとともに、職員への意識啓発や財政上の措置を講じます。



ワーク・ライフ・バランスだね！



協働による男女共同参画社会の形成

市民の役割（第5条）

- 1 社会のあらゆる分野で、男女共同参画を進めましょう。
- 2 市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力しましょう。

※市民とは（定義第2条）
市内に住んでいる人、市内に通勤通学している人



事業者の役割（第6条）

- 1 事業活動において、男女共同参画を進めるとともに、職場における活動と家庭生活における活動などを両立できる職場環境の整備に努めましょう。
- 2 市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力しましょう。

※事業者とは（定義第2条）
市内で事業を営む法人、個人及び団体



性別による差別等の禁止（第7条） ～ してはいけないこと

- 1 性別を理由とする差別的な取扱い
- 2 男女間における身体的、精神的な苦痛を与える暴力的な行為
- 3 性的な言動により他の人に不快感や不利益を与えたり、生活環境を乱す行為
- 4 一般に公表する情報の中で、性別を理由とする人権侵害を助長すること

7つの基本的な施策（第8条） ～ 男女共同参画を進めるために市が行うこと

1 女性職員の職域拡大・女性委員の拡大

5 家庭生活での男女共同参画の推進

2 教育分野での男女共同参画の推進

6 健康や性に関する教育、相談

3 雇用の分野での男女共同参画の推進

7 民間団体との連携

4 自営業での男女共同参画の推進

男女共同参画計画（第9条）

- 男女共同参画を進めるための計画を策定します。

年次報告（第11条）

- 男女共同参画の推進状況や施策の実施状況を報告書にまとめます。

調査研究及び広報活動（第12～13条）

- 男女共同参画に関する調査研究や情報収集を行います。
- 市民や事業者の理解を深めるため積極的な広報活動に努めます。

みんなが力を発揮すると、
まちも暮らしも
生き生きしてくるね！



「イクメン」知っていますか？

皆さんは、「イクメン」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？「イケメン」なら知っているけど…という方は、ちょっと時代に取り遅れているかもしれません。「イクメン」とは、育児を楽しむ男性や育児を積極的に行う男性のことです。妻が専業主婦であっても、仕事を持っていたとしても、親として育児に関わっていくことは非常に大切なことです。

子育ての期間は、子どもが赤ちゃんの時だけではなく、中学・高校の思春期までずっと続いています。「家族あつての仕事」ではないでしょうか？一度、「ワークライフバランス」について考え、「イクメン」に負けないぐらい、カッコいい「イクメン」を目指しましょう！



「デュオの会」屋外活動

昨年8月2日に開催された「びばい歌舞裸まつり」において、「デュオの会」の存在と活動を少しでも多くの方々に知ってもらうため、会報を配布しPR活動を行いました。

時折、小雨が降るあいにくの天気でしたが、会場を訪れていた皆さんは快く会報を受け取ってくれました。

これからも「デュオの会」の活動を皆さんに理解してもらえるように、男女共同参画の推進に向けた様々な取り組みを進めていきたいと考えています。



編集後記

ピンク色はどんなイメージですか？かわいらしい？健康的？はなやか？青色はどんなイメージですか？さわやか？涼しい？クール？

色のイメージとそのイメージから男性と女性で好みの違いは、ある程度の傾向はあるようですね。

でも、いろんなものを作ったり、決めたり、選んだりする時に、そのイメージや先入観だけでこの色は男、この色は女と判断していませんか。

年末の紅白歌合戦…NHKは伝統的に紅組は女性、白組は男性としてきました。番組自体は否定しませんが、長い年月をかけて、「赤は女性」「白は男性」のイメージをテレビという媒体で流し続けてきたことは事実です。私たち見ている側も自然とそれを受け入れているのです。昨年暮れの紅白では「桃組」もあったようですが…。

身近なことを思い出すと「野球の紅白戦」「運動会の紅白帽子」は男女でわかれてやるものではないですよ。

こどものランドセルやかばん、靴下やシャツを買う時には、「女の子らしいからこれ」「男の子だからこの色」…ではなく、「この子だからこれがおすすめ！」「この子がこれを選んだから」と男女のイメージや先入観以外の物差しを忘れないようにしたいものです。

「人生色々 男も色々 女だって色々咲き乱れるの」こんな歌詞も別の見方をすれば「色々」考えさせられる訳です。

十人十色です。尊重されなきゃならないのは固められた男女のイメージではなく個性ですよ。

(高島)

